

伊部岳の特徴

伊部岳のオキナワウラジロガシがある登山道

全長：登山道入り口からオキナワウラジロガシまでの往復で約 6 キロメートル

所要時間：約 3 時間

難度：やや難しい（一部滑りやすい場所があります。登山道を外れた茂みにいるハブに注意してください）

見どころ：オキナワウラジロガシ、炭焼き窯の跡、木々の間から見る遠くの景色

安全ロープと標識が十分に整備されている伊部岳では、気持ちのよい登山に挑戦できます。登山道は、幅広の旧林業用路や、険しい（そして時に滑りやすい）赤土の「階段」、簡素な竹林、森林に覆われた細い山尾根など、幅広い特徴を備えています。起伏の多い地形にも関わらず、登山道を少し外れたところにある今は使われていない炭焼き窯をはじめとする長年の人間の活動の痕跡がみられます。

登山道は、尾根に沿って少し歩いたところにある樹齢 300 年の巨大なオキナワウラジロガシの木まで続いています。この木は、何百年も前に切り出され、その後また徐々に成長した結果、幹がほとんど編み込まれたような複雑な形をしていることで有名です。この木が今後も何世紀にもわたって存在し続けられるよう、現在では保護のためにロープが張られています。訪れる人はこのロープを越えてはいけません。

裏面

ご訪問ありがとうございます！

伊部岳登山道は、様々な側面を持つやんばるの森の、短いながらも多様性に満ちたツアーです。地元の人々は、この森で何世紀にもわたって生活を営んできました。最後にもう一度、写真や思い出以外は森から家に持ち帰らないようお願いいたします。将来の世代に伊部岳を守り伝えるためにご協力いただきありがとうございます。